令和５年度 犯罪被害者週間

「県民のつどい」プログラム

日時 令和5年**11月25日(土)** 13:30～16:00

場所 秋田拠点センターアルヴェ　多目的ホール・きらめき広場

2階　多目的ホール

- あいさつ …… 13：30 ～ 13：45
- 来賓紹介 …… 13：45 ～ 13：50
- 「命の大切さ学習教室」に参加した児童・生徒による手紙の朗読 … 13：50 ～ 14：20
- 講　　演 …… 14：30 ～ 15：30

「犯罪の被害者遺族になって～自治体・住民のできること～」

犯罪被害者遺族　**近藤　さえ子** 氏

「途切れない支援を被害者と考える会」代表
「新あすの会」「被害者が創る条例研究会」会員
前中野区議会議員

〈プロフィール〉

2004年11月、夫の勤務先の元上司とその上司が雇った若者5人による拉致・殺人・遺棄事件で夫を亡くし、被害者遺族となる。

中野区において、2008年に犯罪被害者等支援の窓口設置、2011年に犯罪被害者等緊急生活サポート事業を実現、2020年犯罪被害者等支援条例制定。

2013年に自ら代表を務める「途切れない支援を被害者と考える会」を発足し、「被害者ノート」の作成や行政における被害者支援について積極的に活動している。

- 閉会あいさつ …… 15：30 ～ 15：35

1 階　きらめき広場

- 秋田県警察音楽隊によるミニコンサート …… 15：40 ～ 16：00
- 生命(いのち)のメッセージ展等のパネル展示 …… 11：00 ～ 16：00

主催　秋田県・秋田県人権啓発活動ネットワーク協議会

共催　秋田県警察・(公社)秋田被害者支援センター・秋田県被害者支援連絡協議会

後援　秋田県教育委員会・秋田県市長会・秋田県町村会・(公社)秋田県防犯協会連合会・秋田県倫理法人会
秋田弁護士会・秋田県少年保護育成委員連絡協議会・(公財)暴力団壊滅秋田県民会議・(一社)秋田県交通安全協会

犯罪被害者週間　11月25日～12月1日

平成17年12月、内閣府が策定した「犯罪被害者等基本計画」において「犯罪被害者週間」が定められました。期間中の集中的な啓発を通じて、犯罪被害者等が置かれている状況や犯罪被害者等の名誉又は生活の平穏への重要性等について、国民の理解を求めることを目的としています。

「命の大切さ学習教室」に参加した児童・生徒による手紙の朗読

「命の大切さ学習教室」について

「命の大切さ学習教室」は、犯罪被害によって子どもを亡くされた御遺族から、御自身の被害体験を児童・生徒に向けて語っていただく講演会形式の教室です。

将来を担う子ども達に、被害者等が受けた様々な痛みや大切な家族を亡くした悲しみ、命の大切さ、犯罪の起きにくい社会を求める犯罪被害者等の思いなどを理解してもらうとともに、犯罪を犯してはならないという規範意識の向上を図ることにより、犯罪被害のない安全で安心な地域社会の形成を目指しています。

学校や家庭から地域社会全体へと犯罪被害者等を支える気運の醸成のため、命の大切さ学習教室に参加した児童・生徒に被害者等の生の声を聴いて感じたことを手紙に綴ってもらっています。

●手紙を朗読する児童・生徒さん

大仙市立中仙小学校	5年	**髙橋夏音**	(たかはし なつね)さん
大仙市立横堀小学校	5年	**本間梨華**	(ほんま りんか)さん
美郷町立六郷小学校	5年	**見上四葉**	(みかみ よつば)さん
秋田市立河辺中学校	1年	**松田望央**	(まつだ みお)さん
秋田県立横手清陵学院中学校	2年	**高橋寿緒**	(たかはし ひさお)さん
横手市立十文字中学校	2年	**髙橋眞斗**	(たかはし まなと)さん
五城目町立五城目第一中学校	3年	**西井希音**	(にしい のん)さん

展示ブース　1階　きらめき広場

展示ブースを設けて、犯罪被害者支援に関する展示を行っています。

○生命(いのち)のメッセージ展

犯罪・事故・医療過誤・一気飲ませなどによって、理不尽に生命をうばわれた**犠牲者が主役のアート展**です。

犠牲者ひとりひとりの**等身大の人型パネルはメッセンジャー**と呼ばれ、その胸元には本人の写真や家族の言葉を貼り、**足元には「生きた証」である靴を置いて、命の大切さを訴えています。**

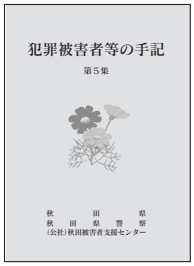
※犯罪被害者いのちのパネル展、被害者団体・自助グループ等の取組を紹介するパネル展のほか、「犯罪被害者等の手記」や独立行政法人自動車事故対策機構による交通事故被害者援護制度に関するパンフレットなどの配布も行っています。

♪令和５年度犯罪被害者等に関する標語♪

心をつつむ
やさしい支援
とぎれなく

犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギュっとちゃん」

犯罪被害者等の手記



今年度、犯罪被害者等の手記第５集の発行にともない、広く県民の皆様に寄稿をご案内したところ、５人の犯罪被害者等の方々が手記を寄せてくださいました。

「県民のつどい」をはじめとする多くの機会に配布し、被害の現状や支援の必要性を知っていただきたいと思います。

金魚のお守り ～交通事故のない秋田を願って～

金魚のお守りは、交通事故で亡くなった五城目町の石井素（もと）さんのお母さんが、「交通事故のない・命を大切にする社会」を願って手作りしているものです。会場では、県内の犯罪被害者の御遺族や犯罪被害者支援大学生ボランティア等とともに作成したお守りを配布しています。

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。